

【3頁朝市続き】 気温が上がっていることから「コロナ対策に加え熱中症にも気をつけて下さい」とア
ナウンスが何度も聞かれ、報道では10時時点で久慈は32.8℃との事でした。

9時頃スタッフの1人が熱中症(ハグラ)で倒れ救急搬送されましたが、近くの皆さんの初期対応が良く、
大事に至らず搬送先の病院で点滴を受け、午前中には自宅に戻ることが出来ました。そして、7月のべっ
ぴんカフェにも元気に参加していました、ご安心下さい。

3. 次回は8月7日(日)です。「飲み物」持参で!!

次回の朝市は8月7日(日)です、更に猛暑が予想され名簿と
一緒に「飲み物」も持参をお願いします。

7月7日のデーリー東北にも掲載されましたが、約350名の
皆さんにお出で頂き小久慈の賑わいと交流の場が創られました、
次回8月7日(日)も更なるお運びをお願い申し上げます。

7月3日開催の小久慈朝市会場に
ウクライナ人道危機救援金
の募金箱を設置 3,364 円
ご協力戴きました。

7月4日、日本赤十字社に届けまし
た、ご支援ありがとうございます。

今年も敬老会は中止となります。

今年も敬老会は、久慈市や社協の指導で残念ながら
開催出来ません。

今年の対象者は昭和23年4月1 以前に生まれた
75歳以上の方々です。

昨年と同様に「敬老の日」に記念品が贈呈されます。
早く、皆さんとお酒を飲み談笑したいものですね。

お知らせ

やまね未来づくり会
べっぴんカフェ
8月の市

場所：山根市民センター
日時：8月28日(日)
午前10時～午後2時

楽しかった「梅の実取り」ウォーキング

梅園の所有者水上國雄さんのご厚意で「梅の実取りウォーキング」を行いました。

当初7月16(土) 予定しましたが、前日「16日警報級の大雨」との予報があり、17日の10時から「開
会セレモニー無し」現地集合としました。丁度10時前には小雨も上がり暑い位の天気にも恵まれました。

「ウメ」は「バラ科サクラ属」です。大きなトゲや枯れ枝も事前に落とし、又小鳥
の巣ではヒナ四羽(写真①)が皆さんを迎えています。

約40本の梅の木は、子供でも手の届く高さ(写真②)ですが「カギ棒」も準備し、
10時にビニール袋を片手に手袋を掛けてスタートです。1本の木でも袋一杯になり、
11時に皆で記念写真です。(写真③)

沢山採れた梅を使い、梅干、梅漬、梅シロップ、35度で梅酒等各々好みのレシピ
で楽しみました。

来年も是非開催を
との声もあり、是非
開催したいと思っ
ています。

参加者の皆さん、
水上國雄さんありが
うございました。



小久慈

まちづくり通信

第70号
令和4年8月1日
小久慈まちづくり
協議会広報委員会
久慈市小久慈町
21-47-14
小久慈市民センター
電話 59-3051

2頁記事
・自主防災研修会
3・4頁記事
・15回記念朝市
4頁記事
・敬老会中止お知らせ
・梅採りウォーキング

～まちづくり協議会の「生命を守る」取り組み～

自主防災研修会を開催

6月24日(金) 市民センター体育室

全国各地で大型台風、洪水、土砂崩れ等自然災害が猛威
を奮っています。

小久慈まちづくり協議会では「生命を守る」取り組みと
して次のような活動をしています。《自主防災研修会2頁へ続く》

地域で防災意識を高める

小久慈朝市開催します

8月7日第2回小久慈朝市を下記により開催
致します、皆様のご来場をお待ちしております。

第2回(8/7)朝市で
包丁研ぎコーナー

を開設します!
1丁200円! その場で仕上げ!
但し 家庭用の 菜切り包丁
刺身包丁 のみとします。

※コロナ感染症対策等のお願い

- ・会場入り口は正門1箇所となります。
 - ・名簿の記入(下記入場整理券に記入し持参)
 - ・マスクの着用、検温、消毒をお願いします。
 - ・熱中症予防のため、こまめな水分補給を。
(入口・休憩所に給水所を設置します)
- ※発熱等体調不良の場合は来場ご遠慮ください。

令和4年度
第2回

小久慈朝市

8月7日(日)

午前8時～9時30分頃
旧長内中学校玄関前

※来場者抽選で
100円共通商品券
50名様に当たります。

※来場の際右の入場整理券に記入し
受付に提出してください。

キリトリ

小久慈朝市入場整理券 [コロナ感染対策]

代表者氏名	同 伴 者
電 話 番 号	名
住 所	小久慈町内からお越しの方は地区名に○をつけて下さい。 横合 岩瀬張 上日当 下日当 大沢田 秋葉 琥珀 柏木 大平 幸町 日吉 滝 (株)十文字チキンカンパニー久慈工場 小久慈町以外からお越しの方は地域名をご記入下さい。 地域名 []

※要援護者名簿共有協定締結

小久慈（滝含む）全町内会で避難弱者支援のため、久慈市と「要援護者名簿共有協定」を結び、民生委員や消防団に加え町内会でも「要援護者名簿」を共有し、避難時に支援する体制を取りました。

※避難所サポーター制度の設立

「小久慈市民センター」は久慈市指定緊急避難所です。平成28年8月30日の台風10号では109人、令和元年10月12日の台風19号では92人の皆さんが避難されています。

コロナ禍の現在は、避難所設営として「受付・検温・消毒・体調確認」、「個別テント」、「段ボールベット」、「1人当たり4㎡確保」等センター職員のみでは困難と思われる作業内容です。

市民センターを避難所としている近隣4町内会とまちづくり事務局で令和2年10月「避難所サポーター」制度を設立し、避難所設営のお手伝いをしています。

※自主防災会の設立に向けて

「要援護者対策」、「避難所設営対策」が出来ました。次は各町内会の取り組みとして生命を守る行動です。組織的な行動が求められており、久慈市では「全地区に自主防災会の設立」を勧めています。

まちづくり協議会でも、令和4年度の事業計画で「小久慈全町内会に自主防災会の設立を目指す」としています。

※自主防災研修会を行いました

自主防災会設立に向け第一歩として久慈市、市民センターとの共催で9町内会より34名が出席し研修会を行いました。

① 主催者挨拶

鹿糠会長より「自然災害から生命を守るための活動と一緒に学ぼう」と挨拶がありました。

② 消防防災課より

津波浸水域、洪水浸水域、気象警報そして災害時の市の対応等の説明がありました。地震や津波は突然来ますが、台風や洪水は天気予報やデータ等で何日も前から知ることが出来ます。毎日テレビの「dボタン」で1週間先まで天候や気温の確認をお勧めします。

③ ワークショップ

近隣町内毎に5テーブル（卓球台）でワークショップを行いました。（写真）

大きな地図とハザードマップで自分の町内の危険箇所や過去の災害事例、避難所・避難場所の確認、避難行動のあり方等をテーブル毎に共有しました。

市内各地のセンターから13名の職員も出席し、進行や書記等お願いしました。

各テーブルでは「ここで沢出しがある」「この沢から溢れ道路が冠水し、遅いと避難所に行けなくなる」、「この高台は避難場所に良い」、「高齢者の避難は明るい内に早くしよう」等過去の災害の教訓から、地域の避難行動を共有していました。

④ 今後の活動

第一歩として町内の代表者(3~4名)で研修会を行い、次のステップとして各町内会では

- ① 今日の研修会の報告
- ② 町内の危険箇所や避難所の確認共有、
- ③ 町内会として災害時の行動、対策、避難支援等再確認する。ことを意思統一しました。

また、町内会役員会等にセンター長が出席し、補足や指導を行うこととしました。各町内会では役員会等開催の場合センターへお知らせ下さい。



5年目第15回記念小久慈朝市

～18店舗 350人で賑わう!!～

今年初めての朝市は「15回記念朝市」として7月3日（日）に盛大に開催されました。スタッフ、出店者は7時前からテント張りや品物を並べ開店の準備、7時30分頃は約150名の皆さんが受付開始を待っています。

1. 開会セレモニー

既に受付テント前には大勢の皆さんが待っています、7時30分受付開始です、コロナ対策で「検温、消毒、名簿の提出」、そしてお待ちかねの抽選です。

抽選では「玉子(6ヶ入)100パック、100円割引券50枚」が当たり、残念賞はポケットティッシュです。

予定より少し早め7時55分から開会セレモニーが行われ、始めに小久慈まちづくり協議会長で未来づくり事業朝市チームリーダーの鹿糠勇より「地産地消そして交流の場を創るため、出店者・来場者の皆さんのご支援で小久慈朝市開催し5年目を迎えました。今後も皆さんのご支援を頂いて、10年を目指して頑張りましょう」とお礼と決意のあいさつがありました。

引き続きお忙しい中お出でくださいました、遠藤久慈市長より「小久慈では朝市、桜ウォーキング等多くの素晴らしい活動を行っています。久慈の地域活動の先駆者として今後の活動を期待します」とお褒めの祝辞を頂きました。

2. さあ記念朝市の開会です

遠藤久慈市長の祝辞を頂き、八屋事務局長のチカラ強い「開会宣言」で今年最初の朝市のスタートです。既に300名以上になった皆さんが一斉に「お気に入りの店」、「気になる店」に直行です。

今年の朝市は昨年以上の18店舗の出店となりました。

・自家焙煎コーヒー、アイスコーヒー ・小久慈焼（食器等） ・おでんコンニャク、がんづき ・米、田楽、 ・野菜、果物 ・小久慈名物じゅうね餅、耳っこ餅 ・じゅうね油、じゅうねパウダー ・ベッピンカフェの軍配餅 ・食塩、クッキー、焼き芋 ・48ローソク灯台 そして3月まで集落支援員として朝市や地域づくりを指導してくれた大向昌彦さんの大向商店の特別出店など多様なジャンルのお店が両脇に並び、何度も行ったり来たりしながら楽しくお買い物です。

又、毎年の風景ですが「元気でだったがー、しばらくだなー、〇〇子ちゃんは何歳になった」などの話し声が聞こえ、カフェコーナーの休憩所ではイスに座りコーヒーとがんづきを食べながらの談笑です。



祝辞を述べる遠藤久慈市長（中央）



開店と同時に大勢の来客で賑わう！